

ボリビアでボリビア出血熱が発生(更新 1)

2012年4月21日 ProMED 情報(Eldeber)



4月19日に、アマゾン地域で新たにボリビア出血熱患者の死亡を確認したと4月21日、ベニ Beni 県の保健局(SEDES)の局長が報告しました。死亡患者は、サン・ラモン San Ramon のカンポ・ベルデ Campo Verde 牧場の者ということです。

さらに、この病気で別の患者がサン・シルベストレ San Silvestre 牧場からベニ県のトリニダ Trinidad に到着し、サン・ラモン病院に入院中です。

サン・ラモンは、ネグロ Negro およびマチュポ Machupo 川近辺にある地方の町で、ウイルスを感染させるネズミが生息しています。

今年これまでに、ベニ県では死亡患者3名と疑似患者50名が発生しています。

〔ProMED 調整者〕

ベニ県では、昨年11月末から患者の発生が続いているようです(1月26日 ProMED 情報、ポスターNo.12 で掲載済)。上記のボリビア出血熱の疑似患者50名のうち何名が確定診断されるか興味があります。ベニ県はボリビア出血熱の病原体であるマチュポ Machupo ウイルスの常在地です。シロアシネズミは、アレナウイルス科の一種のマチュポウイルスを保有するげっ歯類です。